



# 人事必読の書籍ガイド

## ～小説・エッセイから歴史書まで“少し意外な”30選～

人事政策研究所 望月 禎彦

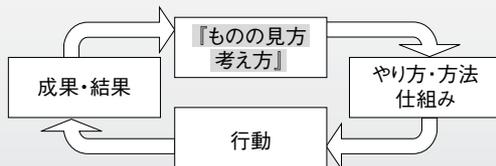
### ■発想の転換を促す読書のススメ

今回、人事担当者に薦めたい図書として、人事の実務に直接関わるような専門書ではなく、“少し意外な”ところから30冊選んでみました。これらの読書の目的は、ズバリ『ものの見方や考え方』を広げることにあります。人間ともすれば、同じ時間に起き、同じ通勤経路をたどり、同じメンバーと一緒に語らい、同じような仕事をする。これでは発想の変えようがありません。

さらなる成長に向けて発想の源を読書から得たいわけですが、注意したいのは、そのセレクションです。本屋さんに寄って、思わず手にとるその本も、実は自分なりのパターンを踏んで選んでしまうものです。発想を豊かにする目的の読書が、逆に自分自身の発想を狭め固めることにつながりかねません。

従前以上の成果・結果を挙げるには、行動を変える必要があります。そのためにはやり方・仕組みを変える必要があります。その変革の第1歩は自身の『ものの見方や考え方』を変えることにあります。そのヒントを、今回選んだ“意外な”30冊から読み取っていただきたいのです。

《ものの見方や考え方が変われば、成果も変わる》



### 構成

- 1 『燃えよ剣』 司馬遼太郎 —— 組織には「嫌われ役」も必要
- 2 『八甲田山死の彷徨』 新田次郎 —— 極限状態でのリーダーシップ
- 3 『代表的日本人』 内村鑑三 —— 外国籍社員にも薦めたい
- 4 『男の作法』 池波正太郎 —— 男をみがく、人間をみがく
- 5 『日本を創った12人』 堺屋太一 —— 日本の独自性を探る
- 6 『働かないアリに意義がある』 長谷川英祐 —— 怠け者を許容する組織
- 7 『接待は3分』 野地秩嘉 —— おもてなしというコンピテンシー
- 8 『営業は女のほうが上』 藤本篤志 —— 女性の力を見くびるな
- 9 『なせば成る』 山形大学基盤教育院 —— 新人研修用テキストとして
- 10 『考具』 加藤昌治 —— 考えて、使って、継続する
- 11 『99.9%は仮説』 竹内薫 —— 自分の頭で考える
- 12 『経営の真髄』 小泉衛位子 —— 企業理念との整合に徹す
- 13 『稲盛和夫の実学』 稲盛和夫 —— 会計から見た経営の原則
- 14 『藁のハンドル』 ヘンリー・フォード —— 批判にひるまず前進させる
- 15 『巨象も踊る』 ルイス・ガースナー —— 巨大組織の改革手法
- 16 『おとなになる本』 パット・パルマー —— 大人のための絵本
- 17 『二人が睦まじくいるためには』 吉野弘 —— 人間関係の基本
- 18 『古代への情熱』 シュリーマン —— 思いの強さが偉業の根源
- 19 『ソフトボール眼』 宇津木妙子 —— 金メダルへの性格分析ノート
- 20 『運を育てる』 米長邦雄 —— 運の女神に好かれる人とは
- 21 『漂流』 吉村昭 —— 覚悟できるか、できないか
- 22 『マネーボール』 マイケル・ルイス —— 本当に意味ある評価基準とは
- 23 『セムラーイズム』 リカルド・セムラー —— 革新的な経営理念の浸透法
- 24 『美味礼賛』 海老原泰久 —— 仕事への執念は十分か
- 25 『零式戦闘機』 柳田邦男 —— モノ作り日本の技術者魂
- 26 『不撓不屈』 高杉良 —— 権力に屈しない男に敬う
- 27 『フィンチの嘴』 ジョナサン・ワイナー —— 進化は今起きている
- 28 『のぼうの城』 和田竜 —— 埼玉で人間力を学ぶ
- 29 『豊臣秀長』 堺屋太一 —— よき補佐役の仕事術
- 30 『小説 上杉鷹山』 童門冬二 —— 人の心に火を点ける

### ■望月 禎彦（もちづき よしひこ）

1960年生まれ。立教大学卒業後、ユニ・チャーム株式会社にて営業を経験後、人事部にて採用、研修の実務を経験。92年独立。支援先企業が人事政策面で1人立ちできるよう徹底的に指導する。特にここ数年は「行動」をベースにした独自のコンピテンシー理論を駆使し、実際の導入先は中堅企業200社、勉強会・講演会参加企業は500社以上に及ぶ。主な著作に『コンピテンシー簡便活用モデル集』（アーバンプロデュース）、『中小企業のコンピテンシー実践』（日本法令）、『職場活性化/モチベーション向上ツール全集』（ビジネスパブリッシング）などがある。  
人事政策研究所 <http://www.jinji-k.co.jp/>